

新潟大学 地球環境・地球物質研究センター
東日本大震災を考える

特別講演会

大地に刻まれた 巨大地震・津波の記録の解読

2011年
10月28日(金)

午後4時20分～

理学部
合同講義室
(理学部 B303)

【主催】新潟大学 地球環境・地球物質研究センター

【後援】新潟大学 災害・復興科学研究所

【講師】

穴倉正展氏

産業技術総合研究所
活断層・地震研究センター
海溝型地震履歴研究チーム長

1969年千葉県生まれ、千葉県立長生高校卒。
2000年千葉大学大学院自然科学研究科博士課程
修了、通商産業省工業技術院地質調査所入所、
01年産業技術総合研究所活断層研究センター研
究員、09年から現職、理学博士。

海溝型地震の履歴にかかわる地形、地質の調査
研究に従事。特に関東地震の履歴を詳しく調査し
ており、最近では1960年チリ地震、2004年ス
トラ島沖地震などに関連した海外での調査も
行っている。09年6月-10年5月の1年間、
文部科学省研究開発局地震・防災研究課に出向し、
行政の立場から地震研究に携わった経験も持つ。

著書に産総研ブックス「きちんとわかる巨大地震」(白
日社)など。8月に最新の古地震調査に
基づいた一般向け書籍「次の巨大地震はどこか!
(宮帯出版社)」が出版されている。